

平成30年度 宮城県第二工業高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		か か わ る	も と め る	は た す		か か わ る	も と め る	は た す		か か わ る	も と め る	は た す		か か わ る	も と め る	は た す				
各	国語	○	○		地歴・公民		○		数学	○	○		理科	○	○		保健体育	○	○	
教科 指導 目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにする。	現代社会の問題を掘り下げ、よりよい社会の実現を考えさせていく。人間としての在り方や生き方を考えさせ、社会の一員としての自覚を持たせる。			数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。様々な事象の考察等に、これらを積極的に活用し判断の根拠とする態度を育てる。			自然の事物・現象に素直な気持ちで向き合い、目的意識を持って観察・実験など根気よく行うことができるねばり強い心と真摯な学習態度を醸成する。併せて自然や生命に深い畏敬の念を持てるような心を育む。			健康や安全な生活をおくるための正しい知識を得るとともに、様々な運動の実践を通じて生涯にわたり運動に親しむ資質や能力を培う。理論をもって日々体力の向上を図れる態度を養う。									
	芸術	○	○		外国語	○		家庭	○		○	電子機械科		◎	○	電気科		◎	○	
	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を培い、個性を尊重する精神を養う。	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。言語や文化に対する理解を深めながら、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりするコミュニケーション能力を養う。			人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、社会との関わりについて理解させるとともに、男女が協力して家庭や社会を築いていくための実践力を養う。			ものづくりや資格取得を通して、技術習得のみならず、工業人として持つべき正しい倫理観の育成を図る。			基礎的・基本的な知識・技術の充実を図るとともに、ものづくりをとおして豊かな心を育み、探究心を持って、産業社会に貢献できる態度を養う。									
学 年 共 通																か か わ る	も と め る	は た す		
指導 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と、場に応じた適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・他者を理解し、尊重できる。 ・学校で学ぶ知識と、社会や職業の関連を実感できる。 ・学業と仕事の両立を実践する。 ・学校や社会において自己の果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができる。 															◎	◎	○	◎	◎
各 学 年 の 指 導 目 標		指導内容			ねらい			指導教科等		実施時期	時数									
1年	基本的な生活習慣の確立を目指し、規則正しい学校生活をおくれるようにする。	挨拶の励行、始業時間を意識した生活。			学校生活に慣れ、友人との関わり方や約束事を守るなど規範意識の醸成。			特別活動		通年	35	○	○							
2年	生徒会活動への関わりを意識し、様々な活動へ積極的に取り組む。	各種活動の参加に向けて、クラスで計画的に話し合いをする。			委員会活動や諸行事へ意欲的に取り組む姿勢を養う。			特別活動		通年	35	○	○							
3年	卒業後の社会参加を視野に入れ、相応しい礼儀やマナーを学ぶ。	面接指導を通じて言葉遣いや態度を学ぶ。			その場に相応しい言動で人と関わるができる姿勢を養う。			特別活動		通年	35	○	○							
4年	自分の将来や学校全体を見わたし、今、自分が実践しなければならないことを理解する。	卒業生のお話を聞いたり、お互いに長所、短所を話し合う。			社会への関わりを意識させる。最終学年として、自覚ある行動ができる。			特別活動		通年	35	○	○							